

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

1. 授業計画書（シラバス）の作成・公表に係る取組の概要

カリキュラム編成会議の実施（年2回以上）

上記の会議を踏まえて年間授業計画を確定し、シラバス作成を2月下旬から実施し、3月中旬にホームページ上に公表する

2. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。
- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。
- ・なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

3. GPAの設定・公表に係る取組の概要

- ・学期末に上記の成績評価方法の成績評価に基づき、秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- ・上記の評価に基づき GPA を算定する。

（算定方法）

①1単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0とする。

②秀（4.0×取得単位数）＋優（3.0×取得単位数）＋良（2.0×取得単位数）＋可（1.0×取得単位数）
＝GPA換算数

③GPA換算数÷総履修単位数（不可の履修単位数を含む）
＝個人のGPA（小数点3位を四捨五入）

（実施時期）

前期（4月から9月）、後期（10月から3月）の2回実施し、3月末に年間GPAを学務システム上で算定する。

4. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

（1）進級基準

進級するために必要な単位数を、次のとおりとする。

動物看護学科	動物看護コース	1年から2年へ進級時	28単位
		2年から3年へ進級時	累計 55単位

動物管理学科	グルーミングコース	30 単位
	ドッグトレーニングコース	30 単位
	ペットショップ&セラピーコース	30 単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を取得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

動物看護学科 動物看護コース	愛玩動物看護師試験の合格を目的とするので、動物病院内における業務に必要な技術と知識を確実に修得する。動物病院をはじめ、ペット業界で求められる動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識及び人間と動物が共生できるための獣医療、トリミング、ドッグトレーニングに関する技術と知識を身に付ける。
動物管理学科 グルーミングコース ドッグトレーニングコース ペットショップ&セラピーコース	ペット業界で求められる動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識及び人間と動物が共生できるためのトリミング、ドッグトレーニング、獣医学に関する技術と知識を身に付ける。

(3) 卒業単位

卒業するために必要な単位数を、次のとおりとする。

動物看護学科	動物看護コース	81 単位
動物管理学科	グルーミングコース	55 単位
	ドッグトレーニングコース	55 単位
	ペットショップ&セラピーコース	56 単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

(4) 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。